

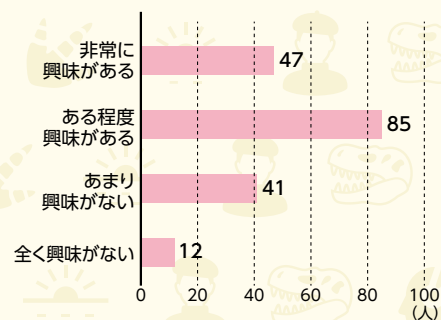
美術館・博物館の楽しみ方

皆さん、美術館・博物館で開催される展覧会に興味はありますか？

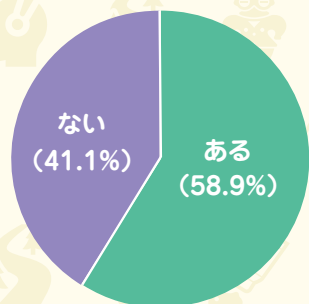
今月号の誌上教室では、展覧会の関心度やその理由を尋ねました。また、文学部芸術学美術史専修の学生に美術館・博物館の魅力について語ってもらいました。

アンケート期間:2019年12月9日～2020年1月31日
対象者:学生 回答者数:185人

Q1 美術館・博物館での催しに興味はありますか？



Q2 美術館・博物館での催しを観に行ったことはありますか？



Q2で「ない」と答えた方にお聞きします。 Q3 その理由を教えてください。

- 何だかイメージが堅苦しそうだから。(社会学部3年次生)
- そういったものに多少興味はあるが、周りに興味がありそうな人がいないため、わざわざ一人で足を運ぶ気にならないから。(法学部4年次生)
- 鑑賞を楽しむだけの知識がないので、何が面白いのかわからない。(理工学研究科M1)
- 興味がないため。(商学部3年次生)
- 興味はあるが、わざわざ行きたいと思うほどではないから。(社会安全学部1年次生)

Q2で「ある」と答えた方にお聞きします。

Q4 展覧会名や作品名など、観に行ったものを教えてください。

- 草間彌生展
- ゴッホ展
- 正倉院展
- ジブリの大博覧会～ナウシカからマリーヌまで～
- 生誕120年 イスラエル博物館所蔵 ミラクル エッシャー展
- 特別展ミイラ「永遠の命」を求めて
- 日本・オーストリア友好150周年記念 ハプスブルク展 600年にわたる帝国コレクションの歴史
- フェルメール展
- 円山応挙から近代京都画壇へ
- ミュシャからマンガへー 線の魔術

Q5 美術館・博物館を訪れた理由を教えてください。

- CMで流れていて興味を持ったから。(人間健康学部3年次生)
- 観光のついで。(経済学部2年次生)
- 美術館・博物館の雰囲気が好きだから。芸術作品や歴史的価値のあるものを見ると、何となく心が落ち着き、一方で知的好奇心を刺激されるから。展示されている作品はどれも自分に無い世界を見せてくれて楽しいから。(文学部1年次生)
- 大学の校外学習で訪れたり、無料券をもらったり、知り合いに誘われたり、興味があつたりしたため。(社会学部2年次生)
- 浮世絵が好きであるのと、自分の見たことない作品を知るのが好きだから。(文学部3年次生)

Q6 訪れたことのある、美術館・博物館を教えてください。

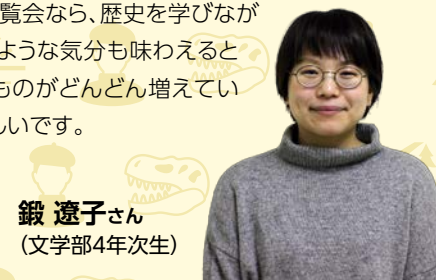
- アサヒビール大山崎山荘美術館
- あべのハルカス美術館
- 伊丹市立美術館
- 大阪くらしの今昔館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 京都国立近代美術館
- 神戸ファッション美術館
- 国立民族学博物館
- 奈良国立博物館
- 六甲オルゴールミュージアム

名古屋市科学館と滋賀県立琵琶湖博物館が特にオススメ!という回答もありました。

美術館 に行くくと旅する気分を味わえます

日本の近現代美術が好きです。小出檣重さんをはじめ、大阪や京都で活躍した数多くの画家がいたことを授業で知って興味を持つようになりました。最近観た展覧会では、京都市にある細見美術館で開催された「琳派展21 没後200年中村芳中」が印象に残っています。関大からいくつかの作品が出展されているのを目にして感動しました。

美術館は難しいイメージがあるかもしれませんが、普段、絵がたくさん並んでいる場所に行くことはなかなかないと思うので、ホンモノに触れることができる機会は貴重です。西洋美術がテーマの展覧会なら、歴史を学びながらその国を旅するような気分も味わえると思います。好きなものがどんどん増えていくような感覚が楽しいです。



鍛 遼子さん
(文学部4年次生)

博物館 でも多くのことを体験し学べます

美術館・博物館には2～3カ月に一度行きます。「関西圏、展示」とキーワードで検索して、直感で観たいと思う展覧会に足を運びます。キャンパスメンバーズ制度を利用すると、お得に観ることができます。

美術館は静かなイメージがあると思いますが、作品の知識がないと解説を読んでも難しく感じることもあるかもしれません。でも、博物館なら水族館のような生き物の展示や、アマゾンのような自然風景が再現されている展示があり、解説を読むと理解しやすいものが多いです。

また、ワークショップでは化石の発掘体験などのイベントもあって、実際に触れて体験し学ぶことができます。視覚的に楽しめる展示が多いのも特徴です。

特に、滋賀県立琵琶湖博物館がおすすめです。



和田 奈々果さん
(文学部4年次生)

学生証や教職員証を提示すれば無料で観覧できる！

奈良・京都国立博物館「キャンパスメンバーズ制度」を利用しよう

本学は、奈良国立博物館・京都国立博物館の「キャンパスメンバーズ制度」に加入しており、学生証や教職員証を提示すれば平常展が無料で何度でも観覧できます。「キャンパスメンバーズ制度」は、国立博物館と大学等が連携を図ることにより、博物館が所蔵する文化財を核として、文化や歴史を学ぶ場や機会を学生に提供することを目的としたものです。学生・教職員の皆さんは、ぜひ活用してください！

特典

- 平常展の無料観覧…「特集陳列」も無料で観覧できます。
- 施設利用等の割引…講堂等の利用割引を受けられることがあります。
- 特別展の観覧料金の割引…観覧料金が団体(学生割引)料金となります。

利用方法

- 学生証や教職員証を提示してください。
- ※ 両館とも、共催展の場合は、共催者の了承に応じた料金になります。
- ※ 「キャンパスメンバーズ制度」の詳細と開館状況は各博物館のウェブサイトをご覧ください。

- ・奈良国立博物館(奈良市登大路町50)
- ・京都国立博物館(京都市東山区茶屋町527)



PROFESSOR'S COMMENTS

文学部 平井章一教授

2年前まで30年間美術館の学芸員として勤務していたので、美術館や博物館の催しに興味があり実際に足を運んでいる学生が多いことを知り、うれしく思いました。

大学での授業では、どうしても画像での作品や資料の紹介が中心になります。でもそれらの本当の姿は、実際に見てみないと分かりません。モノが持つさまざまな情報、モノが語りかけてくる言葉やモノが持つパワーに触れることができる。これが美術館や博物館の展覧会の醍醐味です。

美術館や博物館は、実は展覧会を見るための施設ではありません。館によっては、専門的な図書をそろえた図書室

や創作を楽しむアトリエ、素敵なレストラン、ショップがあったりします。また、講演会やワークショップ、コンサートなども開かれています。美術館や博物館は、学びやリクリエーションの総合施設でもあるのです。

在学中に皆さんでいろいろな館を訪ね、楽しみ方を見つけて、生涯の心の友にしてくださいね。

次回のテーマは…「メンタルヘルスと臨床心理」

6月・7月合併号では、アンケートを通してこころの病気について考えます。家族や友人などの身近な人がこころの病気です苦しんでいるときどのようなことをきっかけに気づき対処したか、専門の教員からアドバイスをもらい理解を深めます。